

行財政改革を実施しています

本町では、多様化する行政課題に対応するため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分し各種事業を実施しています。しかし、少子高齢化対策や障害者支援等による社会保障関係経費が右肩上がりで増大を続け、また、人件費や物価上昇による工事費等の増大、老朽化が進む公共施設等の維持管理経費等についても今後多くの支出が見込まれます。

このままの状況では数年後には、町の貯金である財政調整基金がほぼ枯渇する状態となります。財政調整基金が枯渇した場合、災害等の不測の事態が発生した際の対応や令和8年度以降の予算への影響が生じるため、本町の財政調整基金の残高の回復が目下の急務となりました。そこで、令和7年6月に緊急行財政改革プランを策定し、7つの重点事項を設定し行財政改革を進めています。

緊急行財政改革プランにおける重点事項

- ① 町単独事業の見直し(事務事業の廃止、休止、縮小、統合等)
- ② 事務経費の削減(光熱水費の抑制、消耗品・印刷・コピー代の抑制等)
- ③ 人件費の抑制(時間外勤務手当の縮減、会計年度任用職員数の適正化および勤務時間数の見直し等)
- ④ 補助金の見直し(各種補助金の検証、見直し等)
- ⑤ 普通建設事業(工事)の見直し(道路・下水道事業の抑制、大規模事業の見直し等)
- ⑥ 公共施設等運営の見直し(公共施設等の再編、使用料等の見直し、指定管理者制度の推進等)
- ⑦ 自主財源の確保(企業版ふるさと納税の推進、収納対策の強化、都市計画税の導入、ネーミングライツの活用等)

プランに基づき一部の事業や補助金等の見直しを行いました。**令和8年4月から見直しとなる事業**で特に町民の皆さんに関係のあるものについて、内容をお知らせします。

事業名	区分	概要および見直し内容	担当課
自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金	見直し	自転車乗車用ヘルメットに対する補助金について、補助対象者を見直し、学生(6歳~18歳)と高齢者(65歳以上)のみを補助対象とします。	
高齢者安全運転支援装置設置促進事業費補助金	廃止	令和3年から国産の新型車への自動ブレーキ装置の搭載が義務化され、利用実績が少ないため、高齢者安全運転支援装置に対する補助金を廃止します。	防災危機管理課 内線253
防犯対策補助金	見直し	犯罪抑止効果の高い防犯カメラのみを補助対象とし、センサーライトと特殊詐欺対策電話機器等に対する補助金を廃止します。	
友好自治体施設利用補助金	見直し	東栄町および美唄市の施設を利用する際の費用に対する補助金について、美唄市の利用実績が少ないため対象を見直し、対象を東栄町の施設を利用する際の費用のみとします。	企画政策課 内線134
寝具乾燥消毒サービス事業	廃止	在宅のねたきり高齢者の方における衛生状態を保持するための寝具乾燥消毒サービス事業について、おおむね介護保険サービスで対応可能なため廃止します。	
食の自立支援事業	廃止	在宅のひとり暮らし高齢者の方に対する配食サービス事業について、民間事業者で対応可能なため廃止します。	長寿支援課 内線146
老人日常生活用具給付等事業	廃止	在宅のひとり暮らし高齢者の方に対し、電磁調理器などの日常生活用具の給付等を行う事業について、利用する方が極めて少ないため廃止します。	
木造住宅耐震化補助事業	見直し	昭和56年5月31日以前に着手された民間木造住宅の耐震改修工事費の補助金について、耐震化が進んでいるため、補助上限額を120万円から115万円に見直します。	都市整備課 内線112
住宅用地球温暖化対策設備設置補助金	見直し	定置用リチウムイオン蓄電システム等の導入支援に対する補助金について、補助の対象や内容は従来通りとしつつ、補助件数の見直しにより、予算を30%減額します。	産業環境課 内線154
浄化槽雨水貯留施設転用費補助金	廃止	供用開始から3年以内に下水道へ接続する方で、浄化槽を雨水タンクに転用する工事費の一部補助について、補助制度を利用する方が少ないため廃止します。	下水道課 内線140